

第7日

令和3年12月6日（月）

午前11時5分再開

○議長（半田雄三君） 休憩前に引き続き会議を開き、一般質問を続行いたします。

次に、12番柴山恭子議員の質問を許可します。12番柴山恭子議員。

（12番柴山恭子君登壇）

○12番（柴山恭子君） 議員になって初めて最後の一般質問をさせていただきます。

おかげで私はここで話そうと思った話を熊本議員に話されてしまい、この原稿はどうしたものかなとも思っております。熊本議員はポプラだとおっしゃいましたが、あれはカエデ科のアメリカフウでございます。よろしく。

熊本議員の言うたアメリカフウの並木の写真を撮ってきました。これがアメリカフウの並木の写真です。

今年のアメリカフウは、なぜか害虫の被害があんまりありませんでした。日頃は上からバタバタこげな大きい毛虫が落ちてくるのに、今年はたしか1本か2本だったぐらいだと思います。とにかく今年のこのアメリカフウはとてもきれいで、まず、この木の特性として、樹形が真っすぐということです。真っすぐで、真っ直進に植えられていますので、とても美しく、朝早く行きますと、道の真ん中で誰かが写真を撮っております。私たちが道の真ん中で写真を撮ってきました。とってもすてきな景色です。

しかし、そのために落ち葉も半端ではありません。道路だけでなく、といの中、いろいろなところにたまっています。美しいは美しいけど、住民の困り事でもあります。

うちの堤区会長の方針は、きれいな堤、住みよい堤を目指すです。今年堤は住民に分かりやすいように、道路に名前がつけられ、ここは大平山通りです。

11月28日、けやき通りと大平山通りの落ち葉清掃作業を64隣組長を中心に200名動員し行われ、1時間で終わりました。落ち葉は清流学園の畑を使い、有機肥料作りに利用し、共に連携するとのことでした。

春には同じ体制で、けやき通りや大平山通りの溝掃除が初めて行われ、排水管に入ったケヤキの根が詰まり、排水できず冠水することが確認されています。これらの作業は、次の区会長へ申し送り、慣例化し行うこととされています。

掃除の折、皆さんに意見を聞くと、区会長への信頼は非常に高く、これだからこそ住民の皆さんが集まってきてくれます。この方針を継続し、住民が力を合わせ、誰もが住みやすい環境をどう維持し続けるかが大事です。日頃の区会長の行動に頭が下がります。また、地域の皆様にも感謝です。

今回の一般質問は、朝倉市のまちづくりについて、市長の考えを聞きたいと思っておりますので、どうぞよろしくお願いいたします。

（12番柴山恭子君降壇）

○議長（半田雄三君） 12番柴山議員。

○12番（柴山恭子君） 林市長、私が市長の選挙応援をしましたのは、県議が7期、副議長、緑友会会派会長をされ、国や県とのつながりが強固であろう、九州北部豪雨、道半ばで倒れられた森田市長の思いを受け継ぎ、復旧復興に力を尽くしていただけると信じたからです。

また以前、青梅保育園の園長として、こう挨拶をされました。自分にはやりたいことがあり、今のままではできない。そのために県議に立候補し、教育に力を入れるという言葉でした。

また、立石保育所の運動会の折、来賓でボールのついた馬で競争に出られ、その一生懸命な姿を見、林園長、頑張られると思いました。

市長は、仲山議員の一般質問で、次期市長選には立候補し、朝倉市の未来図を描き、災害以外にも大きな課題があり、凍結している大型事業や問題解決に頑張っていきたいと表明されました。

もちろん、復旧復興に力を注がれるでしょう。しかし、私はこれまで、市長の口から、どのように教育に力を入れたいとか、こんなまちづくりをし、人口増加に力を入れたいとか、朝倉のすばらしさをこんな形で発信し、関係人口の増加を図りたいというような思いや熱さをなぜか聞く機会がありませんでした。

今後の市長の朝倉市経営についてお尋ねをいたします。

○議長（半田雄三君） 市長。

○市長（林 裕二君） 先週金曜日に、来春の市長選挙に立候補させていただくということを表示をいたしました。

その中では、平成29年災害、次の年の平成30年の災害、これから復旧復興を着実に早く進めると、朝倉を取り戻すという形で表現をさせていただいておりますけれども、このことを確実に成し遂げていくということがまず第一であるということでもあります。

それから、新型コロナウイルス感染の問題についても予断を許さない状況でありますので、これにしっかり対応をしていくということでございます。

そして、今お尋ねの朝倉の人口減少を食い止めて、そして、地方創生をいろんな分野で考えて、計画して、実行して、そして朝倉の発展、市民の皆さん方の期待に応えていくということ。そしてまた、大型事業についても凍結をしておりますので、状況をしっかり把握しながら一つずつ前に進めていくと、こういった形で表現をさせていただいたところでございます。

お尋ねになりました、朝倉のこれから何をするかということについては、まだ選挙に立候補させていただくという段階でございますので、市民の皆さんから選ばれたら、今申し上げたような形を実行していくということになります。現段階におきましては、こうしたいということでお話をさせていただきます。こうしますということは現状言えない部分

が非常に大きいと判断を致しておりますので、その点はよろしくお願いをしたいと思えます。

一つ言われました教育、教育につきましては、根本は日本の、あるいは朝倉市でありましても、教育に力を入れることは一番大切な基本の問題であるというふうに考えております。朝倉市がしっかりと発展をしていくと、すばらしい朝倉を守っていくということについて、現在教育については、文部省あるいは福岡県の方針を基に、朝倉市独自の教育の方向性を定めてやっていただいておりますということでもあります。

その中身につきましては、子どもがそれぞれ地域において、学校と、あるいは家庭と力を合わせて、子どもをしっかりとまず全体で育てていくというのを基本といたしまして、そして子どもが持っておりますそれぞれの可能性といったものをしっかりと育てていって、活躍できるような子どもをつくっていくという基本的な部分をしっかりとやっていただいておりますので、学校教育におきましては、このことをベースにいたしまして、新しく制度としてできました教育会議がありますので、教育長はじめ教育委員会と私をはじめとする行政とが議論を尽くしまして、朝倉の将来に向けて子どもたちが伸び伸びと、そして育っていきますようにしっかりとした学力と体力とそして道徳といったものをバランスよく育成する、そういう学校教育の仕方を目指していきたいというふうに思います。

社会教育におきましては、これまでも社会教育の必要性と、こういったものは学生時代、あるいは学生時代の遊び等を通して、私はこれまでやってきたということがございますので、いろんな経験をさせていただいたということがあります。

生涯学習のまちづくりという時代もありましたし、これは時代が変わって現在に至っておりますけれども。生まれてそれぞれの年代において、例えば、学校を卒業しても、社会人になっても、リカレント教育という言い方もされますけれども——いつでも自分の生き方を勉強する機会を保障するという考え方でありますけれども、そういう考え方は極めて私は大事というふうに思っておりますので、このことを今日先ほどお話しになられました地域社会、コミュニティの在り方という中でもそれはできます。今、具体的になされております。

そしてまた、大学等で社会人になってもその門戸は解放されていることでもありますので、そういうふうな時代の中で、朝倉市において、今申し上げました生涯学習を保障するような、そういう朝倉市の仕組みをつくっていききたいというふうに考えております。

今質問がありましたので、教育についてはそのように思っているところであります。

まちづくり、あるいは情報の発信の仕方等々については、それぞれ質問をしていただくとちょっと答えやすいですね。全体を言えと言われてもなかなかできませんので、よろしかったらそのようにお願いしたいと思います。

○議長（半田雄三君） 12番柴山議員。

○12番（柴山恭子君） 教育のことについて答えていただきまして、ありがとうございます。

す。

私は、先日、立石小学校にコミュニティスクールの委員として参加いたしました。その折、校長がこう言われました。「おはようございます」と挨拶をするのではなく、例えば、「市長、おはようございます」、「副市長、おはようございます」。相手の顔を見ながらきちんと挨拶することが大事と、そのとき校長は挨拶をされました。

私は教育委員会において、市長の大きな考えは分かりましたが、もっと細かくこんなことをやっていって、この朝倉の教育を、言われたように体力も教育もそれから道徳も少しずつでも上げていこうというそのような方針を持っていただきたいと思います。

それでは、次に、これまでなされておりました第1期朝倉市総合戦略にあります誰もが住みたい朝倉、若年層を対象とした朝倉市に住み続ける環境づくり、住環境の整備や暮らしやすさの向上があります。

私は市民からこう言われます。下水道は整備が進んでいるが、上水道の整備は申し込んでもなかなか進まず、水質の悪い地域に住んでいると、水は何とかならないのかとの要望などがありますし、先日の中島議員の質問の中に、親と近くに住む方が子どもの数は多いともありました。

朝倉に住んでいて実家に帰り、同じ敷地内に新築する場合、市外に住んでいると補助金はあるのに市内ではない。市内の業者でなければ補助金は出ない。しかし、朝倉に住む多くの人が市外の業者でも働いているのに、両親には、子どもが病気のときや仕事の都合で遅くなる時なども見てもらえる。親が高齢化した場合、手助けもできるのにちょっと変だなあという意見もあります。誰もが朝倉市に住み続けたいと思えるまちづくりを市長はどう思われますでしょうか。

○議長（半田雄三君） 市長。

○市長（林 裕二君） 年代を問わず、朝倉市の皆さんが、今議員が言われましたように、必要なときに必要な体制ができているということが基本であろうかと思います。

そしてまた、外から移住していただく人たちのための支援策、家を造るときの政策、そういったものも地方創生という視点でやっておりますけれども、朝倉市に住んでいる人たちの住宅の政策といったことももちろんやっておりますけれども、これはリフォーム中心という形で今対応させていただいているところでございます。

質問の全体に当たるかどうか分かりませんが、朝倉市の皆さん方が住宅を新しく、リフォームも含めまして、造っていくということについては、朝倉市3世帯で住んでいたといたことが理想ということにはなりますけれども、こういったことについて、もうちょっと市民の皆さん方が朝倉に住み続けていきたいということを実感していただけるような形で考えていきたいというふうに思います。

それから、仕事の途中でなかなかという話がございました。これは子どものことではないんですね。

○議長（半田雄三君） 12番柴山議員。

○12番（柴山恭子君） こうですよ。子どもが病気したときとか、自分の仕事が遅くなってどうしても保育所に迎えに行けないとか、子どもを見てもらうときに、親と一緒に住んどけば両親から子どもを見てもらえるということです。

○議長（半田雄三君） 市長。

○市長（林 裕二君） 保育所の対応、そういったこと。それから病児保育もピッコロ保育園というのが新しく誕生いたしましたけれども、こういったことを充実させるということはしっかりやっています。

それに加えて、今言われましたように、親の家と自分たちの家が近くにあれば対応できるという議員のお話でございますので、朝倉市内に、やはり親と子と孫と一緒に住めるような地域づくりを前市長から引き継ぐ形で行ってまいりました。

このことは、自分から言えば親、祖父母、そしてまた子ども、そして孫といった人たちが、いわゆる家族が近接して住んでいるということについて取り組んでまいりましたので、これから先も基本的な考え方としてはそうあるべきであるというふうにやっていきたいというふうに思います。

○議長（半田雄三君） 12番柴山議員。

○12番（柴山恭子君） 今回、なぜ私がこの質問をしたかと申しますと、今、うちの職人の中には3人の人が新築をしようとしております。

1人は、うちのアパートから自分の実家に帰るのが1人。これはもう3世代の住居になります。

もう1人は、筑前町から自分の実家のある馬田に来ようとする者が1人。

もう1人は、うちのアパートから奥さんの実家のお父さんに家を建ててもらって、うちの近所に住むちゅうとが3人。これが3人目です。

どの子どもたちにも、私の調査の間違いかはしませんが、移住してきて業者が朝倉市の業者でないので補助金は出ないちゅうことでありましたし、それから、うちから自分の親のところにも新築をしようにも、これにも補助金はありませんし、ましてや、うちからうちの近所に住むよその事業者が建てる家では、全くの補助金は何もありません。元来、朝倉市に住んでいて、朝倉市の親のそばに家を建てようとするとき、何の手助けもしてやれないちゅうのが非常に残念ではあります。

リフォーム補助金にしても、これは朝倉市に会社のあるところに出されるリフォーム補助金だと私は思っております。よその業者に、朝倉市以外の業者に頼む場合には多分出ていないと思いますが、この3人の話を聞きながら、何かもう少しないかな、朝倉市にせたく住み続けるのだから何かないかなと思っております。市長はどう思われますでしょうか。

○議長（半田雄三君） 市長。

○市長（林 裕二君） リフォーム補助金につきまして、市内の業者の育成といったことも含めて、制度としてそういう形を取らせていただいているということでございます。

今後は今までの制度も踏まえた上で、そして、もう少し朝倉市に住んでいる人たちが、住み続けていただくための住宅の助成制度の在り方といったものについてしっかり考えていきたいというふうに思います。

○議長（半田雄三君） 12番柴山議員。

○12番（柴山恭子君） 中島議員も言われましたが、やはり家族が力を合わせて、今の困難なところを乗り切って子どもを育てるということは、とても大事なことで、そういうことがこの朝倉市の中でたくさん出てくれば、とても素晴らしいことだと思いますので、どうぞよろしくをお願いします。

次に、市民の安全を守り、地域コミュニティの活性化、それを支える人材育成、これが地域の個性で輝く朝倉とあります。

きれいだ堤、住みよい堤が区会長のコンセプト、これに具体的に取り組み、住民とともに動く、これこそが地域コミュニティの活性化と言えましょう。30年間続く年4回の大平山清掃、月1回のトイレ掃除、毎月行われる立石コミュニティ前の草刈りもまた、住民とともに行うまちづくりであります。

子どもたちの遊び場として危なくないように、また、災害のときここにテントを張ればいいというような意見、車は何台置けるのかとか、トイレはどうする、炊き出し等の意見が出ております。持続可能なまちづくりとは、率先して意見を出し合い、これにどう答えていくかではないでしょうか。

私は一般質問で、毎回のように個別無線の質問をします。回答はいつもスマホの利用であります。スマホ利用の具体的な取組も行われず、高齢者などの指導も進められず、国の方針がデジタルを中心として進められるとしても、東京に住む人が考える情報発信のやり方と5万人の住む朝倉の情報発信では全く違うと考えます。

地域ごとの特徴を見つけるのは、地域でないといけない。国は地方の意見を尊重すべきであり、地方は地方に任せるべきであります。市もまた地域の思いを聞くことから始めるべきであり、朝倉は今でも有線放送の地域であり、このやり方が最も優れていると私は思っています。

市長はお父様の健康づくりの話をお聞かせされたことがあるでしょうか。この話で旧朝倉町の健康は保たれたのだと私は思っております。朝の忙しい時間に地域放送から流れてくる言葉は、知らず知らずに行動に生かされてきたのでしょう。スマホがそれほど優れているとすれば、屋外広域防災無線の必要は全くないとも言えます。地域の個性で輝くべきであり、何もかもが国の方針では、地域ではついていけないのではないのでしょうか。

地域の個性で輝く朝倉は、どのような地域づくり、安心安全の朝倉づくりを市長はどう考えてあるか、お願いいたします。

○議長（半田雄三君） 市長。

○市長（林 裕二君） 地域放送、そしてまた災害時の防災に関する災害に関する情報の伝達といったことでお答えをさせていただきます。

地域放送につきましては、いろいろと過去で検討されまして、これまでの答弁と繰り返しになりますけれども、有線放送を使ってある地域においても最後の更新という形で、もう次は更新には支援ができないという形を取られていまして、現在それを市の方針としても守っていくというか、継続している状況でございます。

こういうことで、新しい技術の進歩等々も含めまして、スマートフォンを活用した地域放送といいますか、情報の伝達といったものについて、ある地域ではそれを一斉に、恐らくLINEを使っているのかというふうに思いますけれども、情報を流しているという地域もございますし、また、このことについて検討しようかという地域もあるようもございます。

技術が日進月歩、進歩していますので、そのことを踏まえながら、しっかりと取り組んでいきたいというふうに思っております。

命を守る防災無線には、聞こえないということをはじめとする限界が生じておりますので、今スマートフォンも含めまして、いろんな形で、テレビ放送とか、メールとか、そういったことで今対応させていただいているところでございます。

議員が言われますことも私理解はしますので、こういったことについて、実際もうちょっと具体的にどうしていくのかといったことについて、情報通信手段あるいは災害等の際の防災情報の伝達、避難情報の伝達等については、しっかり考えていくということでやっていきたいというふうに思います。

○議長（半田雄三君） 12番柴山議員。

○12番（柴山恭子君） 今の時代だから、外から、でも防災行政無線はガンガン聞こえて、聞こえなくても聞けるように努力してあるんですけれども、スマホがそれほどよければ、ガンガン聞こえる必要もない。スマホで流せばいいでしょう。別にお金をかけて防災行政無線を行う必要もないし、スマホだけでいってみればいい。そういう検討も必要となってくるということでしょうか。

私は防災無線と一緒に、何をしても耳から何らかの情報が流れてくることは、とても大事だと思っております。健康づくりにしても、教育のことにしても、いろいろな情報を朝のちょっとした時間の中に個別無線から流れてくることは、とても大事なことです。これは東京ではできず、ここ田舎だからできることです。これは私はとても大事なことで思っておりますので、何としても考えてほしいと思いますし、これまでどおりスマホ一辺倒であれば、スマホをどう進めるかの検討をお願いします。

スマホのこういう進め方で朝倉市全体に情報が行き渡るようにしますというのが本来の市の在り方でしょう。例えば、PTAでは、一つの学校でいろいろな情報を保護者に対し

て流しております。朝倉市立石で1万を超す人口の中に区会長が2年ごとに変わり、隣組長が1年ごとに変わり、隣組長から住民の皆さんに連絡が行くとき、その手続は毎年毎年変えていくものでしょうか。その辺りの細かいことをきちんと検証して、住民の皆様にごうすれば安心安全の朝倉の放送ができるということを検証していただきたいと私は思いますが、どうでしょうか。

○議長（半田雄三君） 市長。

○市長（林 裕二君） 福岡市におきましては、特に新型コロナウイルス感染症に対する多くの市民の皆さん、特に高齢地域者の皆さん方に対して、福岡市スマートフォン等を使ったことに関して大変研究をされておきまして、特に公民館等でスマホの練習・説明・使い方といったことがやられております。

スマートフォンを活用するという時代がもうやってきておりますし、これからそういう形で、スマートフォンだけと言っているには取らないでいただきたいと思っております。そういうときにありまして、高齢者はやっぱり難しいです、実際。私も難しいとですよ。で、そういうふうな実際のことを一番大切にせないかん。この高齢者が元気に生活していただくというのが議員も私も共通の願いだと思っておりますので、そういう人たちに対して丁寧にお勉強していただくとか、パソコン等も含めて、こういったことになったら非常に楽しくなるとか、そういうようなことを具体的に、やり方はいろいろあると思っておりますので、ぜひやりたいという気持ちで取り組んでいきたいということでもあります。

○議長（半田雄三君） 12番柴山議員。

○12番（柴山恭子君） 立石コミュニティでも、私たち高齢者に向けて、テレビのこのボタンを押すと情報が流れますよとか、これを押すとこういうふうなことができますとかいう、いろいろな勉強会はあっております。

残念ながら、健康づくりも何でもそうですが、市が行う講演会もそうですが、住民の皆さんがそこには集まってきてくれないでしょう、違いますか。1万何千人の住民の中に10人ほどの住民が来て、いろいろな講座を聞いたとしても、それが朝倉市全体に広がるとは思いません。現に大刀洗では、私のはっきりした情報ではありませんが、防災無線が聞こえないので、ラジオを利用した個別無線のような感じで放送が行われているそうです。

朝倉市が一边倒にスマホ、スマホから脱出できないのなら、スマホをどう活用して、どうすれば市民の皆様へ情報が提供できるのかをきちんと検証してほしい。それは市長の仕事です。市長は、住民の命を守らなくてはなりません。住民がぼーっとしとつても、耳から健康づくりや朝倉市の在り方、いろんなことが流れてくれば住民は動かざるを得ません。

まさに、市長のお父様が行っておられたあの放送はすばらしいものでした。それは面白おかしく健康の在り方を放送してありましたよ。国民健康保険で黒字になったのは旧朝倉町ではないでしょうか。そのように、下からの下からの何かがあって、まちづくりは進めていけるものだと私は確信しておりますので、市長、どうかこの辺りの考えについてもち



よっと答弁願います。

○議長（半田雄三君） 市長。

○市長（林 裕二君） 朝倉町での私の父の有線放送の活動についてでありますけれども。外に出ておるときが結構長うございましたので、じっくり聞くというようなことはございませんでしたが、1回聞けと言われてましたので、朝早く起きて聞いたことはあります。

そのことによる当時の朝倉の人たちの元気に働いて、くよくよしないで、そして何か調子が悪くなったら相談に来なさいと、そしてまた早くがん等の病気を見つけて、そして専門の医療機関等にやっていった時代、そういったことと、日頃からの食事の在り方とか、あるいは農作業のときの消毒とか、姿勢とか、そういったことについて、やってきたということだろうと思います。

このことを踏まえて議員のほうからいろいろ言われまして、確かに、スマートフォン等で流れる情報、視覚情報、そしてまた一部音声、機械的な音声と、それとやっぱり肉声を——恐らく録音しとったんだろうと思いますけど、それとは違うじゃないかという御指摘は、私もそう考える部分はございますので、ちょっとしっかり研究したいというふうに思います。

○議長（半田雄三君） 12番柴山議員。

○12番（柴山恭子君） よろしくお願ひします。

次に、全力で魅力を発信する朝倉、より戦略的で効果的な情報発信をどう考えられますでしょうか。

私は、朝倉の自然がとても好きです。熊本議員も言われましたが、よそにいろいろ見に行ったけど、朝倉のアメリカフウはえらいきれいかったちゅう言われました。もちろん農学校跡地のイチョウもきれいです。

元農学校跡地では、市長、覚えておられますかね、のりたまごちゅうのを高校生が作っておりましたよね。えらいおいしい卵で、有明海のくずノリを食べさせて作った卵だそうです。

私は前々から、まだ農学校がある時代ですけど、あのイチョウ並木の下で、全国卵焼き大会を開いたらどうかというような、イベント好きの私としてはいろんなことを思っておりました。

また、甘木公園の桜や紅葉、夕月神社の桜、朝倉の筑後川沿いの桜は、みんなは、うきはの流川がきれい、きれいちゅうばってん、とても筑後川に植えられた朝倉の桜の美しさは何とも言えんち私は思っております。

また、初夏の緑の美しさ、緑の様々な美しさは、とてつもなくすごいと私は思います。

だから、大平山開発に力を入れました。大平山に登り、散策し、すがすがしい気持ちになって帰ってきます。すばらしいところです。これも市の力添えのおかげで、大平山があんなに公園化することができたのはすばらしいことですし、あんな立派なトイレも造って

いただきました。ただ、掃除が大変ですが、それは行きます、掃除に。

もう一つ、ダムの話になりますが、今年、寺内ダムのライトアップ、とてもきれいでした。

それから、江川ダムの紅葉の美しさ、あの道路を走るときの紅葉の美しさは何とも言えませんし、小石原川ダムは水面が美しい。イベント好きの私としては、あの水上にろうそくを浮かせたいと思いました。魅力的で幻想的だろうなとも思います。

市長は朝倉の何が好きですか。何をもっと発信したいと思われませんか。

○議長（半田雄三君） 市長。

○市長（林 裕二君） 立石の皆さん方、そしてまた堤区の皆さん方、特に大平山のみんなで管理して、そしてライトアップといったことがずっと継続されてきました。すばらしいことだと思います。

そしてまた、今回お話がありましたように、真っ赤に染まった真っすぐの街路の風景がありました。私もあそこは通ってきております。11月28日とおっしゃったと思いますけれども、200人出て掃除をしたんだと。1時間で終わったということだと思います。

朝倉市を考えたときに、朝倉市の一つの特徴はコミュニティ制度を取っております。コミュニティがしっかり、活動を自分たちの力でやって、自分たちで考えて、そして自分たちで計画して、自分たちでそれを継続していくということ、理想の形でありまして、そのことに関しましても、御紹介があった大平山の清掃、トイレ掃除等のライトアップを含めた活動、それと堤区での今回の取組ということについては、誠にすばらしいことであり、皆さん方に心から感謝したいなというふうに思います。

朝倉市には、お話がありましたように、自然、ダムの周辺のお話、ダムそのものの話、それから市内各地での桜のすばらしさ等のお話がありました。

こういう朝倉市が何が自慢かと、私にとって、と言いますと、好きなのかということも含めましてお話をさせていただきますけれども。

私は朝倉のすばらしさは、まず自然ということ間違いのないというふうに思います。

そして、やっぱり人だろうというふうに思います。市長になってもそうですけれども、以前からまちづくり等に取り組んでいきます中に、市内の人というよりも市外のいろんな方面の方々と当然のこと、いろんな会話をしたり、議論をする中で、朝倉のやっぱり人の真面目さも含めた人柄といいますか、そういったものが総じてすばらしいという話をよくしてきました。私もそのとおりだろうというふうに思っております。

自然のすばらしさの中で、特に今頭に考えていますのは、先ほどから言われました3つになったダム。それから筑後川、原鶴温泉、それから山田堰、そして、水をもって発展をしてきましたキリンビールをはじめとする市内の企業等々を考えたときに、私はやっぱり水がキーワードになっていくというのが間違いのないというふうに思っています。

特に水の文化村ができて25年ぐらいになるんだらうと思っておりますけれども、これを眠

っていた宝と表現させていただいていいかどうか分かりませんが、このままでは駄目だということで、福岡県も力を入れていただきまして、かなり内部も、そして古くなった設備等も、あるいは外の子どもたちが集まってきますプールの部分的に使っている部分等々、しっかりきれいになりました。災害からの復興の一つの形として、グリーンスポーツゾーンもきれいに回復をされました。

この水の文化村というのが一つのこれからの本市の観光の拠点になっていくということ、私はやっぱり先ほど申し上げましたように、水の回廊というふうに自分はちょっと今考えておりますけれども、市内各地にあります水に関しますいろんな分野の施設等々をしっかりと連携させて、それを売り出していくということについて、朝倉市の今後の未来図の一つの大きな柱にしたいというふうに思っております。

○議長（半田雄三君） 12番柴山議員。

○12番（柴山恭子君） 市長は御存じないかもしれませんが、私は便所議員と言われておりました。

今は口を開けば個別無線、個別無線と言っておりますが、昔は便所、便所、便所と言っておりました。便所と公園が私の仕事のように言っておりました。

それで水の文化村を考えたときに、自転車競争があったときに、あそこで私はおにぎりとかバナナとか、あれはエイドといいますかね、をしたことがあります。

そのときに、あそこにトイレがあるんですが、それはざまないトイレです。25年もたちや、あげんならうちゃ思います。それで女性の会では、大平山だけではなくて、あそこの水の文化村のトイレも何とかならんやろうかちゅう話は出ましたが、まだまだ実現しないままですので、もしあそこのトイレがきれいになれば、私たちも考えなくもないと思います。

それで、もう一つは、あの駐車場から水の文化村に上がっていく階段が——これは担当の方にお話したんですけど、ぬれているとぬるぬるとする。これは非常に危ない。子どもたちがあそこを上がっていくのに危ないので、今後市長が水の文化村について何かやりたいと思われるとすれば、あの辺りの掃除はもうちょっときちんとすべきではないかと思えます。

それから、昔昔私は寺内ダムで、いかだを造っていかだ遊びをしたことがあります。そういうことで、水を使いながら3つのダムを有効に使い、朝倉市の観光発信をするということはとても素晴らしいことではないかと思いますが、なかなかダムの利用は難しく、私たちもあそこでイベントをできたのはたった1回でした。でも、とても楽しいイベントでしたし、大きな花火も上げることができましたので、市長、これから水の回廊はえらいいいことだと私は思いますし、秋月のあのさらさら流れる水に、福岡からの来た子どもたちが遊ぶのも昔からの私の夢です。

市長、どうかこの水の話もう1回、あと8分ぐらいありますので、水とその他、市長の

お好きなことをお願いします。

○議長（半田雄三君） 市長。

○市長（林 裕二君） 議員、柴山さんはトイレ議員ということをおっしゃったんですかね。これは極めて大事なことでございまして、観光地を見ましても、やはりトイレがしっかりしていないと、やはりなかなか、特に団体客がなかなか行かない。リピーターもどっちかちゅうと敬遠するのの一つの理由がトイレがよくないということでありまして。トイレを造るのには場所によっていろんな制約があったり、経費のこともございまして、そういう中にございまして、しっかりと頭に入れて対応させていただきたいというふうに思います。

それから、水の回廊ということで、大ざっぱに今話をしましたけれども。

水については、非常に朝倉市は歴史的に肥沃な農地を作ってきたということを含めまして、プラスになってきた部分と、そうではなくて、やっぱり水も平成29年の水害に代表されるような大きな災害をもたらしてきたのも事実でございます。

そこで、今議会でも先生方からいろいろお話を頂きました。

平成29年の災害からやっぱり復興をして、これから朝倉市が元気になっていくと、元気になってきたんだということをもうしばらくはしっかり訴える必要があると。このことを朝倉に関心を持ち続けていただく、また朝倉市どうなったかということで来られている方もまだまだ多いんですね。こういったことも含めて、災害からの復旧復興を着実にやっていって、そのことを被災者の皆さん方の生活をしっかり支えていくと並行しまして、復旧復興する形を、どうやって朝倉に応援していただいた人たちをはじめ、朝倉に来ていただいて、私たちが支援した、ボランティアをした朝倉がみんなの力でこれだけ回復してきたと、被災者も元気になって田んぼで頑張っておられるという形を実感できるようにしていただけるように努めていくというのは、私はやっぱりやらなきゃいかん、やらしていただくことの重要さといったものを現在も強く持っていますし、これからもそう努力していきたいというふうに思っているところであります。そのくらいでよろしいでしょうか。

○議長（半田雄三君） 12番柴山議員。

○12番（柴山恭子君） 市長、ありがとうございます。私は市長にそういうふうに、でももっと具体的に、みんなこんなことをして朝倉市を活性化しようやとか、その熱い思いを私たちに届けてほしかった。私たちは、そんな市長の思いの中から、私たちにできることは私たちでします。だから、市長の熱い思い、これから朝倉市をどう思っているかちゅう思いをどんどん発信してほしいと思います。どうぞよろしく願いいたします。

これをおもちまして、私の一般質問を終わらせていただきます。ありがとうございました。

○議長（半田雄三君） 12番柴山恭子議員の質問は終わりました。

以上で、通告による一般質問は終わりました。これにて一般質問を終了いたします。

暫時休憩いたします。午後1時に再開いたします。

午後零時2分休憩